■ 故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

①形名：VK-M50　②症状：できるだけ詳しく　③道順：付近の目印も

症状	点検項目
動作しない	雑音が入る ● 停電していませんか ● 電源ブレーカーが「切」になっていませんか ● 電源プラグまたは、電源結線が外れていませんか ● 親機、子機間の配線コードの結線が外れていませんか ● 親機、子機間の配線コードがショートしていませんか(この時、通電、通話ランプが緑色で点滅します。)
呼出音が小さい	● 呼出音スイッチが「小」側になっていませんか
通話ができない	● 通話ボタンを押しましたか（音声応答スイッチが「切」のとき）
映像がはっきりしない	● 明るさ調整は適正ですか ● モニター画面、カメラの窓が汚れていませんか ● 背景に太陽光や、外灯などの強い光源がありませんか
通話が途切れたり	● 近くにテレビ、ラジオ、電子レンジなど電磁波や磁気を発生する機器がありませんか

■ 仕様

モニター親機（VK-M50P）

項目	仕様
電源	AC100V、50/60 Hz
消費電力	15W（動作時）、2W（待機時）
呼出音	2点打電子チャイム音
通話方式	拡声自動交互（ハンズフリー）
配線本数	2本（無極性）
配線長	φ0.9 mmで100 m（最大）
逆光補正	自動
モニター画面	4インチモノクロ偏平CRT
走査線本数	525本
取付条件	露出形（壁直付）、室内専用
使用温度範囲	−5℃～＋40℃
寸法	215.5(高さ)×150(幅)×59.5(奥行)mm
質量（約）	1.1 kg
材質・色調	ABS樹脂、ホワイト

カメラ付玄関子機（VK-M70K）

項目	仕様
電源	DC10V（親機より供給）
通話方式	拡声同時通話
撮像素子	CCD、25万画素
走査方式	NTSC準拠
撮像範囲	50cm離れて水平126cmをカバー
被写体最低照度	0ルクス（50cmまで赤外LED照射）
アイリス	自動、電子式
取付条件	露出形（壁直付）、防雨構造
使用温度範囲	−10℃～＋50℃
寸法	130(高さ)×98(幅)×34(奥行)mm
質量（約）	240 g
材質・色調	ABS樹脂、ダークブラウン

■ 保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

■保証について

● この製品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

● 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

ドアビジョンの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでご不明の場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

お客様メモ：サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

購入店名：　　　　電話

ご購入年月日：平成　　年　　月　　日

ーメモー

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03)3502-2111

No.256

HITACHI

日立ドアビジョン

形名 VK-M50

ご使用の前にこの「取扱(取付)説明書」をよくお読みください。

取扱（取付）説明書

このたびは、日立ドアビジョンをお求めいただきまことにありがとうございました。

この「取扱（取付）説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

この説明書は工事説明書を兼ねています。正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。

なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保管してください。

ドアビジョンVK-M50は、モニター親機VK-M50Pとカメラ付玄関子機VK-M70Kの組み合せです。

VK-M50P

VK-M70K

目次

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は必ず実行していただかなければならない内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

安全上のご注意

⚠警告

本機のカバーや裏ぶたを外したり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

表示された電源電圧（AC100V）以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグを接続する前に、誤配線、ショート等がないことを確認してください。火災・感電の原因となります。

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

プラグをコンセントから抜くこと

通風孔（開口部）をふさいだり、内部に金属類を差し込んだり、落としたり、衝撃を与えないでください。故障、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- 親機に液体（水、ジュース、薬品等）をかけたり、ぬらさないようにしてください。万一、水などが入った場合は電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 親機は、雨水がかかる場所に設置しないでください。感電・漏電の原因となります。

水ぬれ禁止

⚠警告（つづき）

- 電源コードを傷つけたり加工したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。また、重いものを乗せたり、加熱したり、強く引っ張ったりしないでください。
- 電源コードはたばねて使用しないでください。発熱し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりなどがたまると、湿度が高いとき感電や火災の原因になります。1年に1回ぐらいほこりをとってください。

- 電源を接続した状態で配線、取付け、結線工事をしないでください。感電の原因となります。
- 電源の配線工事には電気工事士等の資格が必要です。無資格者の工事は火災・感電の原因となることがあります。
- 親機・子機間の通信線は、電源線から離して設置してください。お互いの線が接触した場合、火災・感電の原因となることがあります。

本機を以下のような場所に設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 暖房器具の近くなど、温度が上昇する所
- 風呂場の中や洗濯機、加湿器の近くなど湿気の多い所
- 冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低い所
- 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる所

⚠注意

本機を壁に取付ける場合は、肩などの身体が容易に触れない場所を選んでください。けがの原因となることがあります。

本機のモニター部に力を加えないでください。破損するとけがの原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、コードを引張らないで必ずプラグを持って抜いてください。コードの被覆が傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。
- 電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気店にコンセントの交換を依頼してください。

雷が鳴りだしたら、使用を中止してください。感電の原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

旅行などで長期間（1ケ月以上）、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜くこと

使用上のご注意

■本機の近くで電気ノイズを発生させないでください。誤動作の原因となることがあります。（例：電気ドリル、火花点火式ガスレンジなど）

■近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがあると、映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

■夜間は、カメラ付玄関子機から約50cm以内の来訪等を映し出します。周囲が暗い時は、それ以上離れた背景は映りません。

■外気温が急激にさがった場合に（降雨後など）カメラに曇りが発生し、映像がぼやけることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

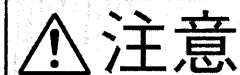
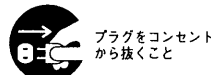
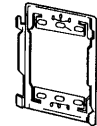
■冬期、カメラ付玄関子機の表面が凍結すると、映像が見えにくくなったり、呼出ボタンが動かないことがありますが、故障ではありません。気温が上がれば正常に戻ります。

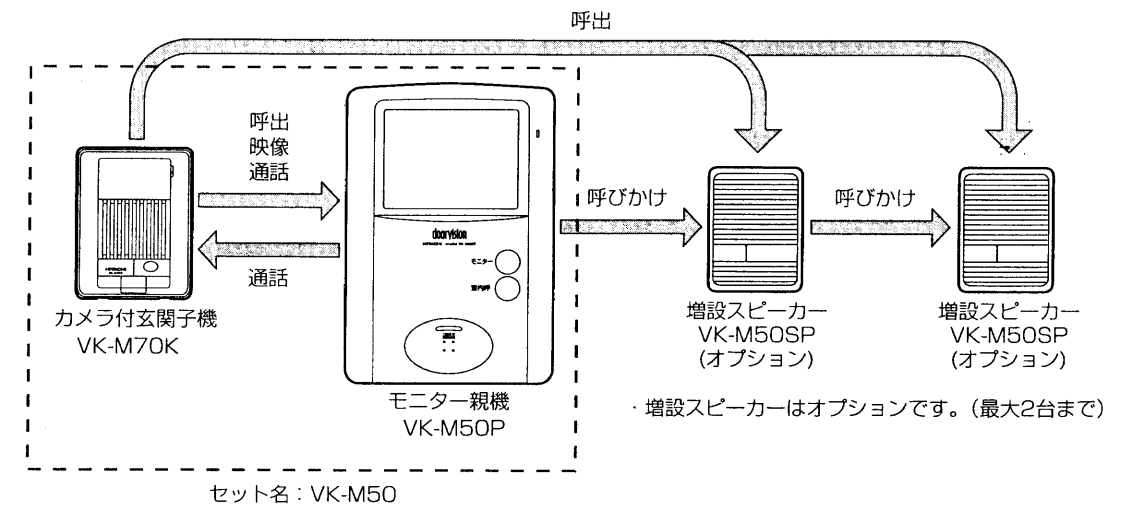
■モニター親機から50cm以内でお話しください。離れ過ぎると音声が聞き取りにくくなります。

■モニター親機やカメラ付玄関子機の周囲の音が騒がしいと、音が途切れて聞き取りにくくなることがあります。

■相手が話しているときに、話しかけると声がとぎれて聞きとりにくいことがあります。相手が話し終ってからお話しください。

■カメラ付玄関子機は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。特に下方からの打水は故障の原因になります。

お手入れのしかた

⚠注意	お手入れの際は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

●汚れを落とすときは、柔らかい布で空ぶきしてください。
●汚れがひどい場合は、中性洗剤を布に浸して拭き、さらに、乾いた布で拭き取ってください。洗剤をスプレーなどで直接かけないでください。
●シンナー、ベンジン類は使用しないでください。

特長と構成

● カメラ付玄関子機とモニター親機により、来訪者を映像と音声で確認できます。
● 両手がふさがっていても、手放しで通話のできるハンズフリータイプのドアビジョンです。
● 「はーい」と返事をするだけで、来訪者と通話のできる〝ノンタッチハンズフリー音声応答機能〟や通話ボタンを押すだけで通話ができる〝ワンタッチ機能〟をスイッチの切替えで選択できます。
● 増設スピーカーは2台まで接続ができて、親機から離れた（2階など）場所でも来訪者がわかります。また、親機から増設スピーカーに呼びかける〝ルームコール機能〟がついています。
● 家族が帰ったときなどに「ただいま」などと、玄関子機からモニター親機に呼びかけができる〝帰宅コール機能〟付きです。
● 玄関の様子を映像と音声で確認できる〝モニター機能〟付きです。
● カメラ付玄関子機は広角レンズの採用で更に広い範囲の映像をとらえます。また、レンズの角度を変えて低い位置にも取付けができる〝チルト機構〟付きです。

付属品について

取付けを始める前に付属品を確認してください。

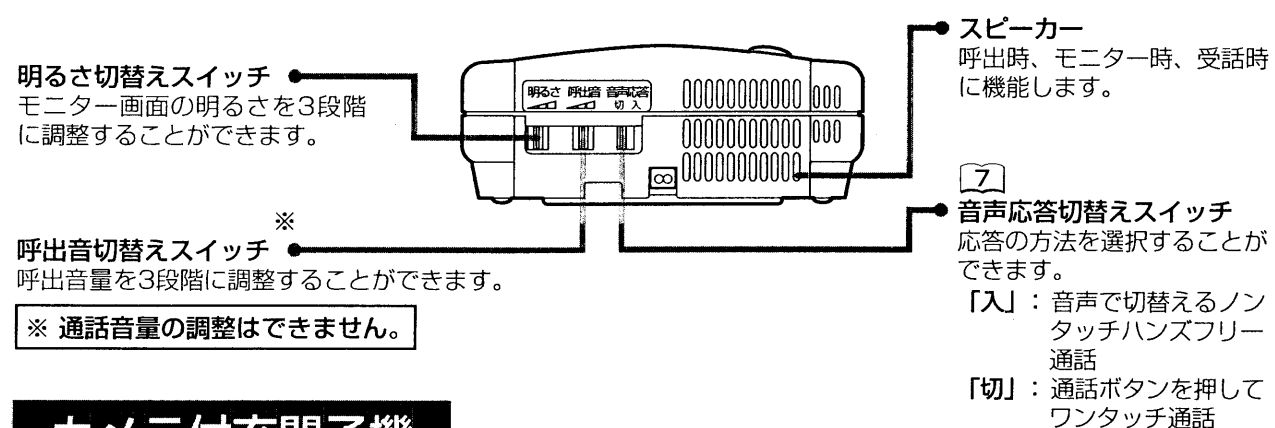
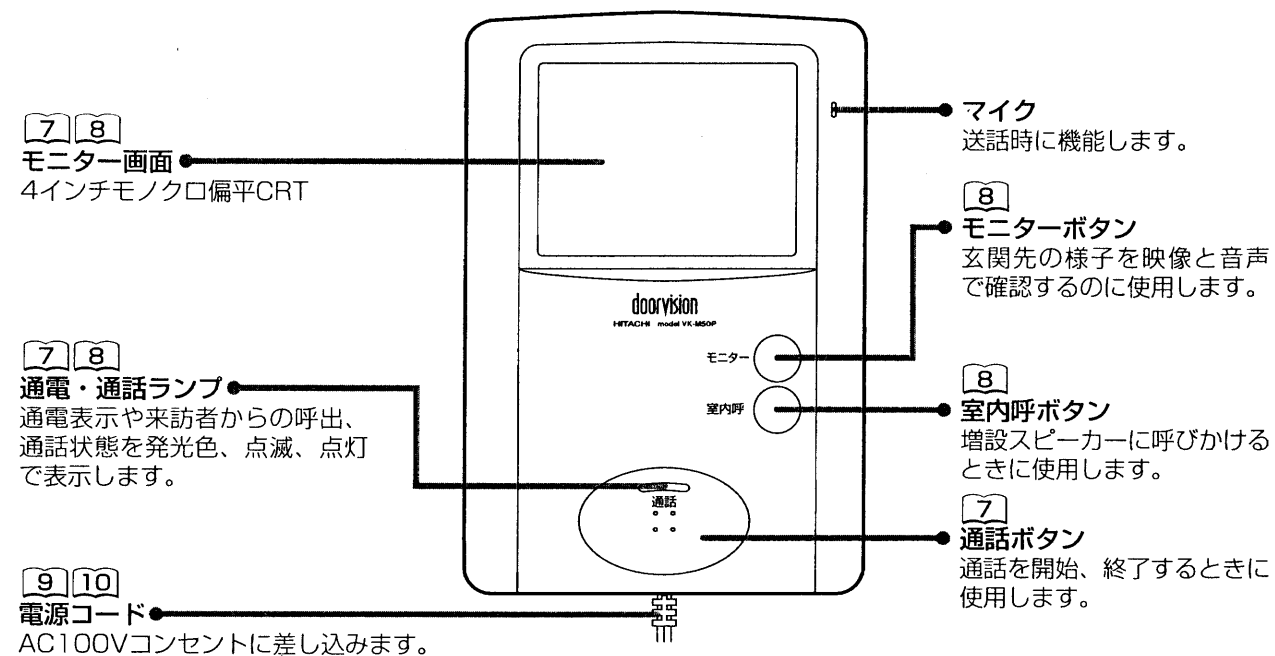
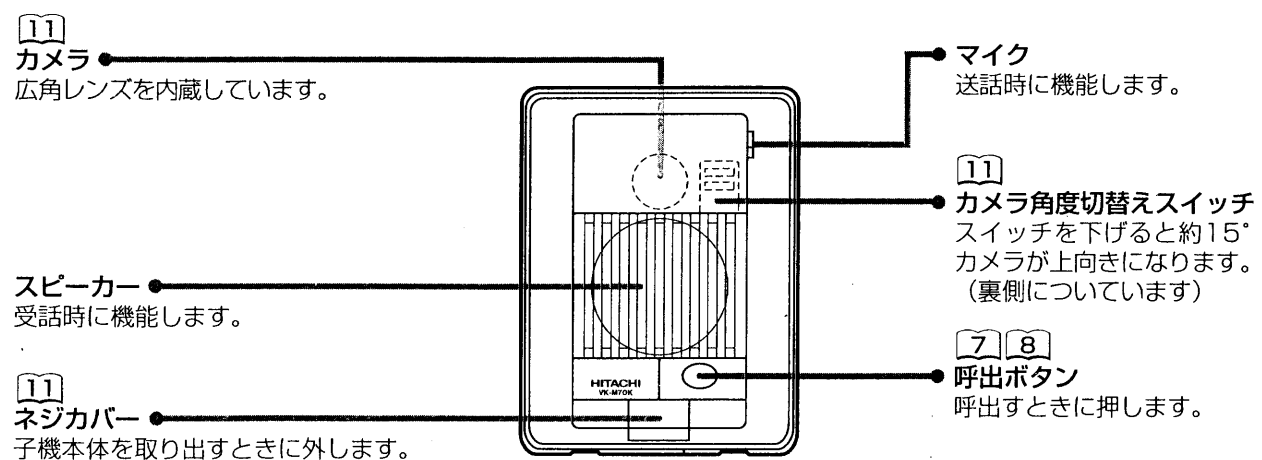
付　属　品	数　量
壁掛金具（本体裏側に付属）	1個
取付用木ねじ（3.8×20）	4個
取付用ねじ（M4×30）	4個
取扱（取付）説明書／ご相談窓口一覧表／保証書	各1

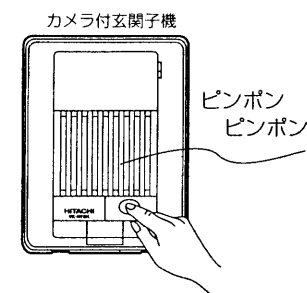
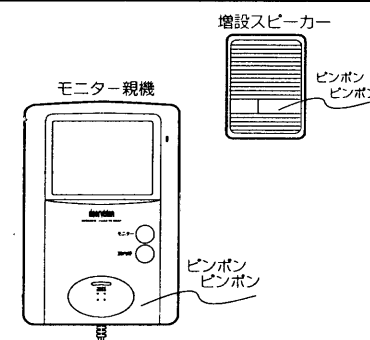
別売品について　（別売品のご注文については、お買い上げの販売店にお申し付けください。）

● 増設スピーカー　品番：VK-M50 SP　（2台まで増設できます）
● 左右傾斜台（30°）　品番：VK-M50　101　（サービスパーツ扱い）

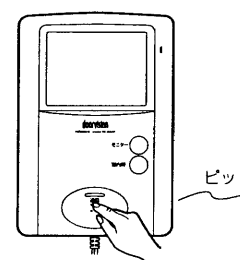
各部のなまえとはたらき

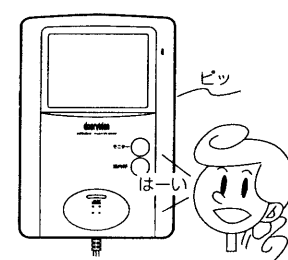
モニター親機

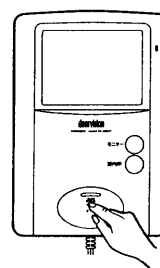
□内の数字は参照ページを示します。

ご使用方法

玄関に来客があったとき

呼出ボタンを押すと「呼出音」が鳴ります。（ピンポン、ピンポンと2回）
- 押し続けると「帰宅コール機能」になります。（次ページ参照）

呼出音が鳴り、来訪者の顔が画面に映ります。
- 子機から呼ばれたとき、音声応答切替えスイッチを「入」に設定しているときは、通話ランプが緑色で点滅し、「切」に設定しているときは赤色で点滅します。
- 呼出音が鳴って応答せずに30秒経過すると、映像および通話ランプは消え、待機状態（緑色点灯）に戻ります。途中で待機状態に戻したいときは、モニターボタンを押してください。

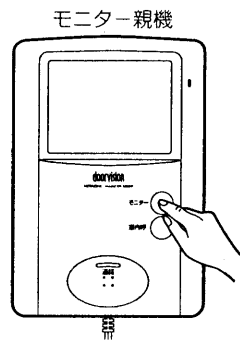
- **通話ボタンで応答する場合**
  （音声応答切替えスイッチ「切」のとき）

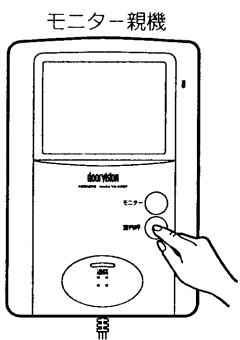
通話ボタンを押し、「ピッ」と鳴ったら、通話ができます。
- 親機から子機への送話のときは、通話ランプが赤色に点灯し、受話のときは橙色に点灯します。

- 通話開始から約3分経過すると映像と通話は切れます。再度通話するときは、もう一度通話ボタンを押してください。

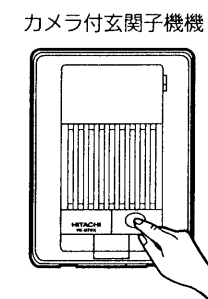
- **音声で応答する場合**
  （音声応答切替えスイッチ「入」のとき）

「はーい」と答えます。
- 「はーい」と声をかけて「ピッ」と鳴ったら通話ができます。
- モニター親機から50cm以内でお話しください。離れすぎると音声応答に切替わらないことがあります。

ご注意:「はーい」は子機には聞こえません。

通話が終ったら通話ボタンを押します。
- 通話ランプが緑色に点灯し、待機状態になります。
- 通話ボタンを押し忘れても、通話開始から約3分経過したときは自動的に終了し、待機状態になります。

ご使用方法

カメラ付玄関子機をモニターするとき

モニターボタンを押します。
- 通話ランプが緑色に点灯します。
- カメラ付玄関子機周辺の映像と音が聞こえます。
もう一度モニターボタンを押すと、待機状態に戻ります。また、約30秒間経過するとモニターボタンを押さなくても、自動的に待機状態に戻ります。

ルームコールをするとき

室内呼ボタンを押し、ルームコールをします。
- 室内呼ボタンを押した後は約5秒間、押し続けている間は約1分間増設スピーカーに呼びかけることができます。
- 通話ランプは橙色に点滅します。
- 室内呼びかけが約1分間を経過すると、自動的に待機状態に戻ります。
- カメラ付玄関子機との呼出し、モニター、通話中にルームコールを行うと、「ピー」という警告音が鳴って室内呼びかけができないことを知らせます。

帰宅コールをするとき

帰宅コール機能とは…
家族が帰ったことや、出かけることを知らせる機能です。
- 呼出ボタンを押すとチャイム音が2回鳴りますが、そのまま押し続けながらチャイム音が鳴り終った後話すことで、子機から親機に呼びかけることができます。
- 呼出ボタンを押し続けている間（最大約30秒）は、モニター親機に通話できます。ただし30秒経過すると、自動的に待機状態に戻りますので呼出ボタンを押し続けても通話することはできません。
- 帰宅コール中は、モニター親機から音声応答はできません。

施工上のご注意

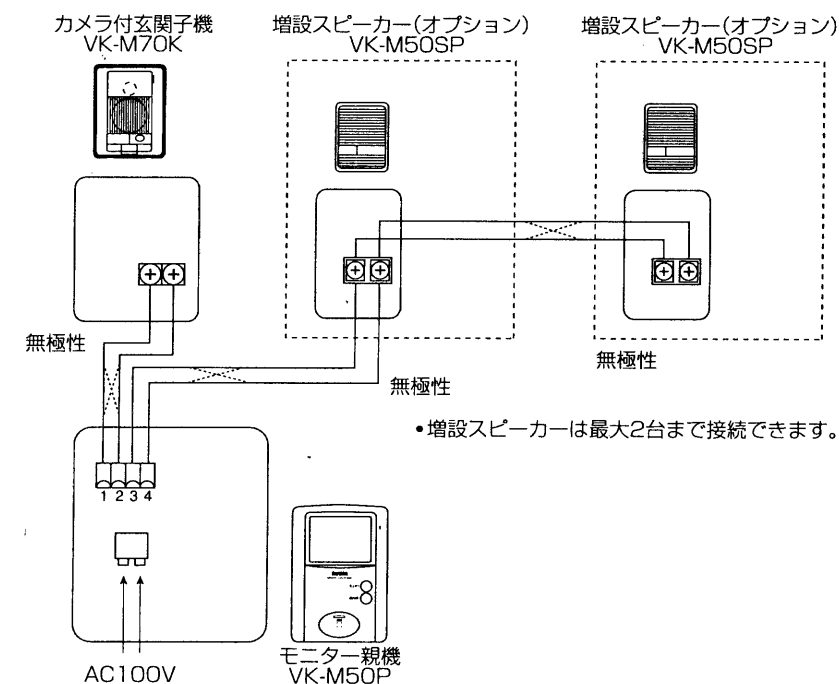
■接続を始める前に

電灯線式のチャイムやインターホンの配線は、AC100V等の高電圧がかかっている場合がありますので、電気工事士有資格者によってこれを取り除いてから接続してください。

電灯線式のチャイムやインターホンとは、今までに一度も電池交換をしたことがない機器等です。特に電源直結式の機器は電源コードやプラグがないので電池式の機器と間違う危険がありますので、くわしくは販売店や工事店におたずねください。

- 配線は電灯線、電話線等と約50cm以上離してください。音声に雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。

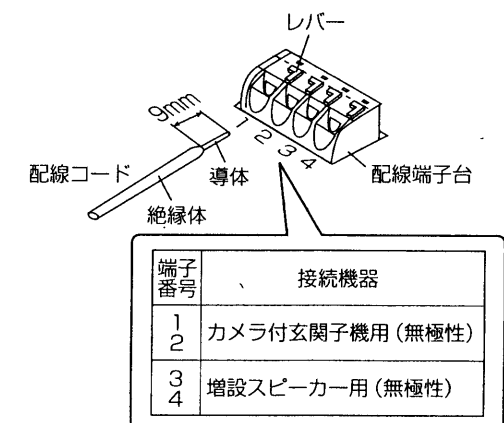
配線方法

•増設スピーカーは最大2台まで接続できます。

配線距離

配線区間 / 使用配線材	モニター親機～カメラ付玄関子機	モニター親機～増設スピーカー
φ0.65	50m	50m
φ0.9	100m	

● 配線コードの接続のしかたと外しかた

配線コードの導体が9mmになるように絶縁体を剥ぎ、
1本づつ奥まで強く差し込みます。
外すときは、配線端子台のレバーを押しながらひき抜きます。

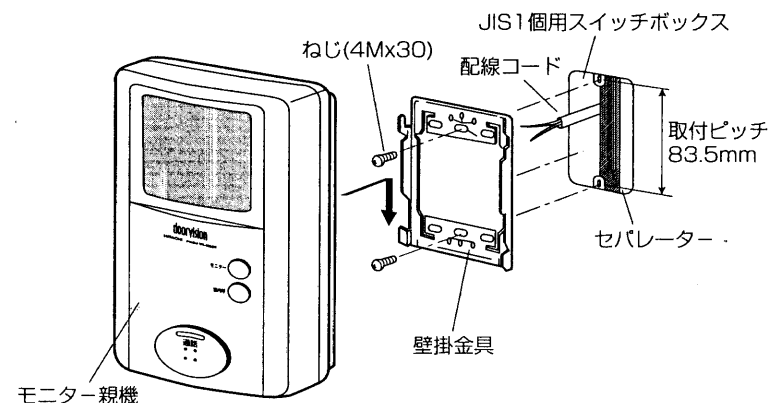
端子番号	接続機器
1 2	カメラ付玄関子機用（無極性）
3 4	増設スピーカー用（無極性）

取付方法

モニター親機の取付け手順

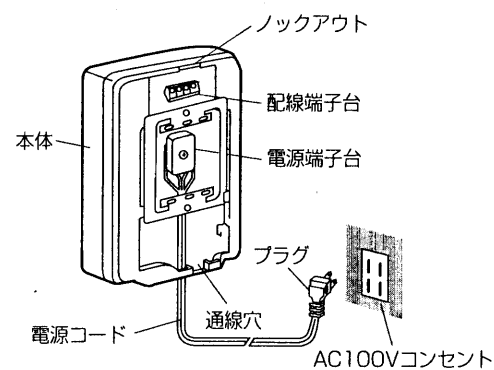
モニター親機取付け上のご注意

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。モニター画面破損の原因になります。
- 極端に寒い場所や暑い場所への設置はしないでください。誤動作や故障の原因になります。
- 直接湯気のかかる場所や湿気の多い場所への設置はさけてください。誤動作の原因になります。
- テレビ、ラジオ、ステレオ等からは2m以上離して設置してください。映像、音声が乱れる場合があります。
- 親機は屋内専用です。屋外に設置しないでください。故障の原因になります。

スイッチボックスに取付ける場合

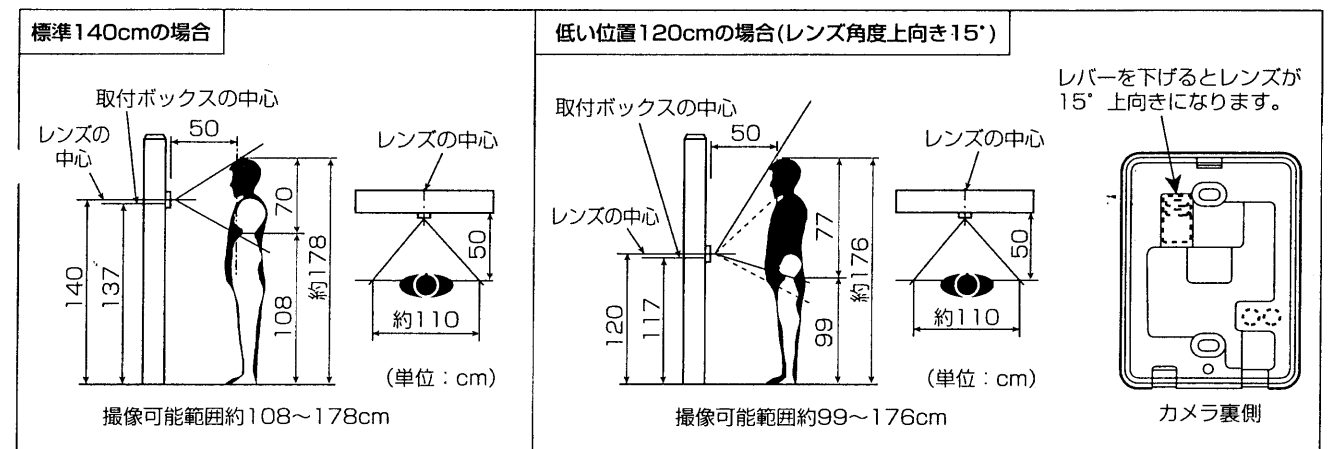
1. 本体から壁掛金具を外して、付属のねじ（M4×30）2本でスイッチボックスに固定します。
2. 配線コードをモニター親機裏面の配線端子台に9ページの配線方法に従って結線します。
3. 本線裏側の中央に壁掛金具がくる位置で押し付けた後、下側に約12mm下げると「パチッ」と固定されます。
4. 電源コードのプラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

- 取付け高さは、床面よりモニター画面の中心まで150cmが理想です。
- スピーカーは下側面にあります。塞いだり、近くに物を置かないでください。ハウリングの恐れがあります。

露出配線で取付ける場合

1. 取付け位置が決まりましたら、本体から壁掛金具を取り外して付属の木ねじ（3.8×20）2本で壁面に固定します。
2. 本体下側より通線するときは、下側の通線穴を使用します。
   本体上側より通線するときは、上側のノックアウトをニッパー等で切り取ってください。
3. それ以外の取付方法は埋込ボックスに取付けるときと同じです。
4. 電源コードのプラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

カメラ付玄関子機の取付け手順

カメラ付玄関子機取付け上のご注意

- 風が強く当たる場所、騒音の大きい場所では通話が途切れて聞き取りにくくなります。
- 人物の背景に太陽があるところや強い照明のある場所には、設置しないでください。
  像が白くなったり、白い線が入るなど映像が見えにくくなります。

■ カメラ付玄関子機の取付け高さと映る範囲

- モニター親機への地磁気の影響により、撮像範囲が変わる場合がありますが故障ではありません。

スイッチボックスに取付ける場合

1. マイナスドライバーを本体底面の溝に差し込み、軽く押し上げ、ネジカバーをはずします。
2. 取付ねじをゆるめ、取付枠から本体をはずします。
3. 取付枠を付属のねじ（M4×30）2本でスイッチボックスに取付けます。
4. 配線コードを端子に結線し、本体上部のフックを取付枠に合わせてからはめ込み、取付ねじで固定してから、ネジカバーをかぶせます。
   ※露出配線も同じ方法です。（取付ねじは、付属のねじ（3.8×20）で通線穴は下側です。）

ご注意：取付け後に、上塗りやパテでコーキングする場合は、水抜きのため下側は開けておいてください。
塞ぐと故障の原因になります。